

【重点目標3 重点取組評価シート】

基本方針	県民の自主的、自発的な活動を支援し、学習機会の提供、学習成果の活用に努めるとともに交流・創造の拠点としての機能を高める。				
重点目標3	県民への学習機会の提供の充実				
重点取組	様々な学習機会の提供による自主的な活動の支援、交流機会の創出				
1 総合評価	R1年度	5	5:目標を上回っている 4:目標に達している 3:目標の8割以上達している 2:目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1:目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度				
	R3年度				
2 評価理由	年間を通し多様な機関・地域団体との連携による事業を実施し、外部事業にも積極的に参加してPRや情報交換に努めた。イベントにおけるワークショップ開催及びボランティアの研修会・交流会の開催等を通して、県民の自主的な活動を支援し交流機会を創出した。 投入指標、活動実績、満足度いずれも目標値を上回ったことから、評価を「5」とした。				
3 数値目標及び達成状況			R1年度	R2年度	R3年度
投入指標	県民参加の事業・連携事業(講座・資料展等)の開催回数	目標値	370回	370回	370回
		実績値	399回		
		達成率	108%		
活動指標	県民参加の事業・連携事業(講座・資料展等)の参加者数	目標値	14,200人	14,300人	14,400人
		実績値	14,485人		
		達成率	102%		
満足度	県民参加の事業・連携事業(講座・資料展等)の満足度*1	目標値	4.6以上	4.6以上	4.6以上
		実績値	4.7		
		達成率	達成		
*1 県民参加の事業連携事業(講座・資料展等)の満足度:5段階評価(参加者対象のアンケートより算出)					
4 行動計画及び取組状況					
	取組内容	行動計画(主な取組)			
3-1	多様な機関、地域団体との連携の推進	外部事業への参加等、多様な機関と双方向の連携を行うとともに、地域の課題解決に資するため、地域団体と連携事業を実施する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「彩の国ビジネスアリーナ」出展(1月29日,30日、延べ205人)</li> <li>「埼玉県がん指導者研修会」参加、講演会「がんのイロハ」(9月7日、112人)</li> </ul>			
3-2	県内各種図書館と連携した「図書館と県民のつどい」の継続開催	「図書館と県民のつどい」開催により大学図書館、高校図書館との連携を深めるとともに、ビブリオバトル等の子供読書関連事業を県教育局担当部署との連携により実施する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	「図書館と県民のつどい埼玉」(12月15日、3,457人、満足度=4.6)			
3-3	県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動の支援	子ども読書支援センターの講師派遣事業を継続し「子供読書に関わるボランティア」活動を支援する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせボランティア団体のための講師派遣(県民団体向け)</li> <li>(派遣先延べ18団体23講座、指導者=延べ23人、参加者=延べ330人)</li> </ul>			
3-4	「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の研修会開催	「子供読書に関わるボランティア」講師のブラッシュアップと講師間の交流を図るための研修会を開催する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おはなしボランティア指導者研修会」(講師養成、交流機会創出)</li> <li>(3回、延べ97人、満足度(第2回のみ)=4.6)</li> </ul>			

3-5	高度な知識技能を有した音訳者の育成	研修会を開催するとともに、資料製作や対面朗読活動を通じた技術向上を図り、質の高い音訳者を育成する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・「音訳者研修会」(8回、延べ103人、満足度=4.9)	
3-6	体系的な読書活動の支援	放送大学、彩の国いきがい大学、公民館の講座などと連携し、履修コースに沿った読書案内カリキュラムを作成し体系的な読書活動を支援する。	その他
	実施状況	・放送大学等の科目構成・内容を参考に「読書案内カリキュラム」を検討した。	
3-7	多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデジ制作体制の充実	マルチメディアデジについて、県立図書館での環境整備を行い、製作体制を充実する。	その他
	実施状況	・「マルチメディアデジ制作マニュアル」提供、資料製作(計10タイトル)	
3-8	図書館ボランティアとの連携・支援	各館のボランティア活動を取りまとめるとともに、学習機会の提供の場としてのボランティア活動について検討する。	その他
	実施状況	・視聴覚、韓国・朝鮮語翻訳ボランティアを新たに募集(新規5人採用) ・「子ども読書支援ボランティア集会」(2月20日、22人)	
5 取組による成果	<p>(1) 新規取組として、①外部事業「彩の国ビジネスアリーナ」に初出展して商用データベースのデモを行い、企業を支援するビジネス支援サービスの認知度アップが図れたこと、②県保健体育課、疾病対策課等との双方向の連携を通じ、「埼玉県がん指導者研修会」への参加、「講演会がんのイロハ」を開催したこと等が挙げられる。</p> <p>(2) 12月に開催した「図書館と県民のつどい埼玉」については、Twitter等の広報に努め、県出身作家の講演、スタンプラリー実施といった取組を通じ、過去13回の開催で最多の参加者を得(3,457人:本目標の約21%)、満足度も目標値(4.6)を達成することができた。</p> <p>(3) ボランティアについては、新規に韓国・朝鮮語の翻訳ボランティアを3人登録するとともに、子供読書関連ボランティア、県民のつどいの学生ボランティア等の継続により、県民の自主的な活動を支援した。</p>		
6 課題及び次年度取組	<p>[課題]</p> <p>(1) 社会的な課題やニーズに合った新たな事業の創出(既存事業の見直しも実施)</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の事業への影響(延期・中止)への対応</p> <p>[次年度取組予定]</p> <p>(1) 連携を活かし、県民の交流機会を創出する新たな事業の実施</p> <p>(2) 事業の充実に資する新たなボランティア募集の検討</p>		